

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成25年6月10日（月）～6月16日（日）〔平成25年第24週〕の感染症発生状況

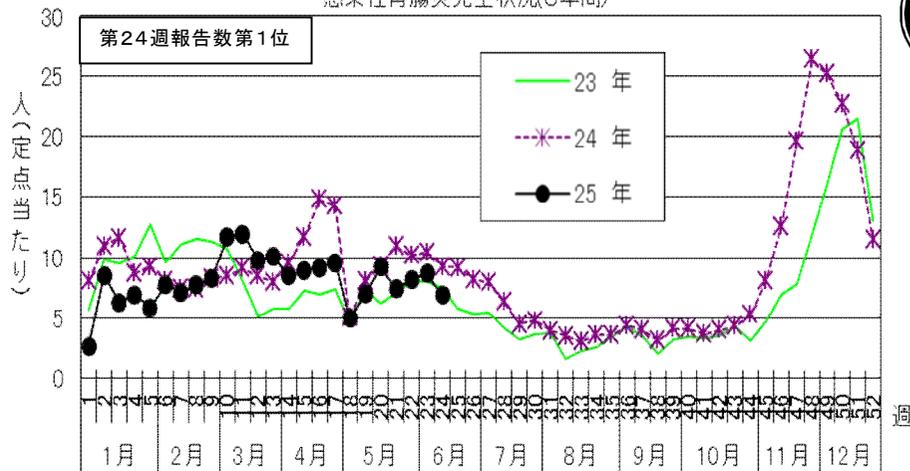
第24週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)手足口病 でした。

感染性胃腸炎は定点当たり6.88人と前週（8.73）より患者報告数は減少し、例年より低いレベルで推移しています。

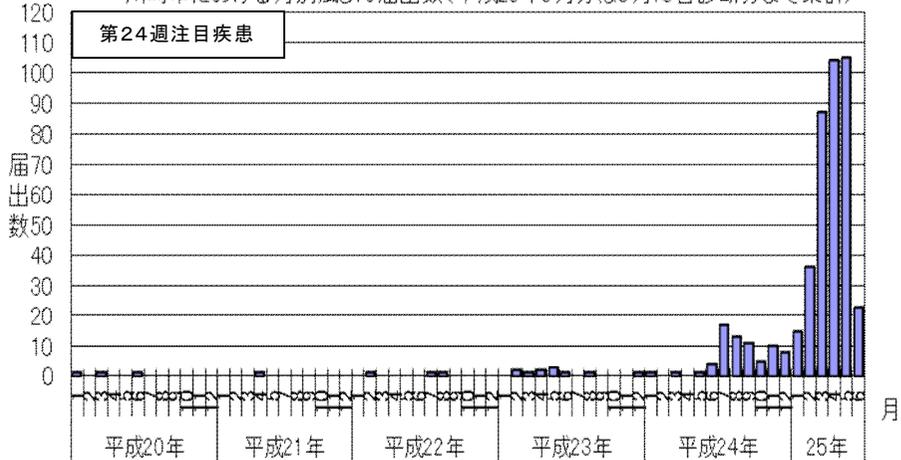
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり2.45人と前週（2.24）より患者報告数はやや増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。

風しんの届出が8件あり、前週より報告数は少なくなっています。現在、本市では、妊娠している女性の夫などを対象に、麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）接種費用の一部助成を実施していますので、予防接種の検討をお願いします。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



川崎市における月別風しん届出数(平成25年6月分は6月16日診断分まで集計)



風しん患者届出数が全国で1万人を超える！！

今年の累積風しん患者届出数が全国で1万人を超えました。川崎市においても、例年を大きく超えて流行が続いています。

さらに、先天性風しん症候群（CRS）の患者届出数が、平成24年10月以降全国で11件にも上っています。

※先天性風しん症候群とは、妊娠中にお母さんが風しんに感染すると、赤ちゃんが生まれつき心疾患、難聴、白内障などの障害を持って生まれてくる病気のことです。

川崎市における風しん緊急対策

川崎市民で、次のいずれかに該当する方については、9月（予定）までの間、麻しん風しん混合ワクチンを2,000円程度で1回接種することができます。

1. 23歳～39歳の男性（昭和49年4月2日～平成2年4月1日生まれ）
2. 妊娠している女性の夫（児の父親）
3. 23歳以上の妊娠を予定又は希望している女性（平成2年4月1日以前の生まれ）

特に早めの接種が重要です。

※原則として風しんにかかったことがなく、予防接種を受けたことがない方が対象です。



発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局健康安全部・各区役所保健福祉センター（保健所）
（問い合わせ先）健康安全研究所：044-276-8250（麻しん風しん混合ワクチン接種費用助成に関するものを除く。）
※麻しん風しん混合ワクチン接種費用助成に関することは各区役所保健福祉センター地域保健福祉課へ御連絡ください。